

日刊 一發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地 (電話六三〇番) 常務部 電話六三〇番



刊夕日八十二月四

定価 一部金貳圓 廣五號十二 祝日ノ翌 日曜大祭 福島縣石城郡平町長橋町三五 發行所 常務部 電話六三〇番

代表的逸品
セルとネル
帶皮等
特選されたる春の流
行品が人荷いたしま
した

中野吳服店
電話六十七番

胃腸 専門 内科
腸十二指腸病
淋病 婦人病
淋病 婦人病
松村病院 町南平
電話七〇一

マキノ特作品
時代劇 **幻魔** 五巻
美男市川右太衛門主演
帝キネ得意の小唄劇
緑川か丘 **宵待草** 七巻
悲戀哀話 柳まさ子共演
瀨川銀潮・柳まさ子共演
マキノ省三指揮
大谷友三郎主演
正劍邪劍 終篇 七巻
マキノ特作品
電光 **花嵐** 七巻
快刀 日形龍之助主演
帝キネスタジオ作品
大石瀨左衛門 七巻
尾上紋十郎・泉春子主演
廿九日より **有聲座**
廿六時開演

吉吳服店の開店十五週年 記念春物大賣出し
外出用モスリン着尺大豊富
●クレイヤー式着尺
●シヤリムズ着尺
●モダン式乙女着尺
●モス友仙
●ナフトールモス友仙柄全
流行新柄澤山取揃値段も此の割合に極く安く呈與致します

平町四丁目
吉 喜好屋吳服店

販賣員募集
材木ハ色川材木店へ
米材 杉五分板 入荷
地方材ヨリ廉賣ス
多少ニ不拘御用命ヲ仰付下サイ

平町 電話三四一番

高久病院
院長 醫學士 高久 忠
副院長 新潟醫學士 赤羽 清
藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄
平町田町 電話五一三番

和洋裁縫生徒募集
△和服一般 △小笠原流作法
△小供婦人洋服 △生花及手藝
△夜間教授特設 △自炊ノ便アリ
〔平鍛冶町〕 **阿部裁縫塾**
電話二四六番

南部鐵瓶 日掛 御便宜ニ致シマス
ホーキ 爐力ギ 各種精巧優美
南町廿九番地 **南部屋**

常 警 論 壇
新黨樹立すこせば 寧ろ我黨に有利也
政友會代議士 向井倭雄
聞く所に依れば近時憲政會
政友本黨、新正俱樂部其他
新興勢力を打つて一九とす
新政黨樹立を憲本の二大
在野黨が中心となつて盛ん
に運動しつつあると云ふこ
とであるが余をしてこの運
動に就て忌憚なく云はしむ
るならば新黨樹立の美名に
隠れたる政權獲得の爲めの
非政友の合同運動にして敢
て今日に始まるものにあ
らずして五十二議會中に三
黨首の申合せを破り憲本聯

盟を結べるにその根源を發
し恐らく政界の形勢觀望の
体にあつたが若槻内閣倒壞
後彼等殊に本黨の非常なる
期待を裏切つて田中男に大
命降下し我黨内閣の成立を
見るに及び俄に其の度を加
へたるを以て今日の如くそ
の成立に狂奔するに至つた
のである元來該運動はその
中心の一たる憲政會は政友
本黨が我黨に切崩さるゝが
如きことあるに於ては天下
の非難を受けながらも折角
作つた憲本聯盟を破壊しや
がては自己の立場を恰も苦
節十年時代より不利ならし
むるものであるから聯盟等

と云ふ生温いことではなく合
同せねばならぬと云ふ見地
からならし相棒たる政友本黨
は自覺の微力なるを知る黨
員は既に幾度となく他黨に
轉せんとするものありたる
が次の政權こそ我黨に來る
ものなりと儚ない一縷の望
みを以て黨員の結束を保つ
て來たのである (つづく)

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雜誌が
自由に讀める
川崎巡文庫
電話六三〇番
(申込次第規則書進呈)

原齒科醫院
敷島ヒヨケ店
平町土橋通り電話三一三番

**敷島のヒヨケ如何にこ
人こわば**
朝日夕日に便利なる品
當店取附のヒヨケに限り材料を要せざる破損は無料に
てヒヨケ修繕をいたします
平町白銀町九

三井吳服店
新館落成披露大賣出し
織物界の新記録を作る獨特の安賣
小供 ホロカヤ 七十 錢(千本限)
白キヤ 花見足袋壹足十 八 錢(足限)
小巾 英ネ 尺壹反一圓十 錢
品 紺 緋 長 尺壹反一圓九十五 錢
着尺モスリン壹反三圓八十 錢
外に小紋錦紗、模様銘仙、本セール各種豊富に取揃有り
◎ 新型花見洋傘各種
人絹應用染織品宣傳會三井吳服店新館に於て

▲錦 丸 帶 十 五 圓 十 錢 以上
▲羽二重帶皮 三圓九十 錢 以上
▲金紗 小 紋 九圓五十 錢 以上
▲全 友 染 五圓五十 錢 以上
▲金紗 八 掛 二 圓 也 以上
▲白古濱四丈物 拾 圓 也 以上
▲博多男 帶 三圓三十 錢 以上
▲金紗半エリ 二 十 錢 以上
▲將に純絹織物を凌駕せんとして居ます、天然絹糸と人
造絹糸と見分の出來ぬまで精巧を極めて居ります、自
然この虚に乘じ暴利を貪る不正奸商の時々御得意様に
抄らす御迷惑を掛けて居る事を耳に致します。かゝる
危険な時機に於て人絹製品數百種を取揃へ下店は卒先
してこの際は是非皆様の御参考に見て頂きたいのです

鯉漁期近づく 磐城各濱の準備

昨年不漁の損失は 是非本夏には回復せん

磐城各濱は昨年夏職の鯉漁以来不漁続きで各業者は全く文字通りの四苦八苦の状態にあり中には本年は

資金難

から休業の餘儀なき破目に陥つた者さへあり悲惨の極に達したので各濱漁業組合では縣並に主務省から低利資金の融通を受け局面の打開に奔走して居たが本年も愈々五月中旬から鯉漁期に入るの

各濱共

それ、出漁の準備に怠りない而して本縣小名濱水産試験場船磐城丸は近日中九十九里濱、銚子濱方面に出漁し鯉漁の調査をする筈であるが目下のハシリ鯉の水揚相場は一尾四圓である

入山爭議

情氣満々

出炭量増加

石城郡湯本町入山採炭會社の爭議の其の後爭議團では各地からの應援米を得て大に氣勢を擧げて居るが時の経過と共に爭議は情氣満々として漸次入坑者數の如きも回復し二十六日の入坑者は平常の三分の二以上迄回復し出炭量の如きも逐次増加しつつあり各方面からの情報から察するに爭議は自然消滅となり近日中に解決

苗代灌漑

野村技師語る

石城地方は一二日前から水の稲の播種に着手し玉川、泉四倉其他の共同苗代は同郡駐在野村農林技師の直接指導で去る廿五日から順次植つけ中であるが同技師は語る「數日來の天候は温度も適當に上り來たから苗代の爲めには最も良い芽出揃ひは大部分來月二三日前であらうが氣候の移り代り目には氣温が不定であるから矢張五月十四五日頃まで安心は出來ない當業者はよく灌水に注意して夜間は深水(二寸乃至三寸位)にして置くことを忘れてはならぬ一般に水を深くすると温度が下る様に考へられて居るが間違ひでそれは程度に據るもので淺水の方が却て温度が低下する此點に注意が十分でないとい往々にして霜害をうけ又霜害を被らぬ迄も早苗が虚弱になるので病蟲害にもかかり易い」と

共同苗代

石城農會努力

石城郡農會では一般業者の福利増進を計つて共同經營の指導獎勵に努めて來たが一般農家の便を圖り共同

苗代共同田植作業の獎勵は勞力經營費種子の節減等の點に於て最も有利で而も増収を圖る點に於て非常に有望で精神的に物質的に得る處少からず爲めに當局の指導獎勵と相待つて之等共同苗代の經營は逐年増加しあり本年は左記縣下に實行組合で經營することとなつたが之等組合に對しては郡農からは再三技術員が出張指導に力めてゐる

農事調査

地方として 稀なる試み

石城郡大浦村では最近同村農事調査を行つたが關係總戸數四百四十四戸で此家族人員大人(十七歳以上)千七百八十八人小人(十六歳以下)千三百七十五人農業關係労働人員千九百九十九人を示し水田面積四百七町二反歩の中全く同村の作付に係るもの三百六十九町九反歩其他食米數量一〇一四四俵並に販賣米七六八七俵の外一般農作物から金肥使用量及び養蠶養鶏等に至る極めて詳細なもので從來テーブル調査に流れ勝ちであつたものを全部小票を用ひた詳細であり正確である統計をよつたが從來のそれと比較し増減實に甚だしきものあるに驚かされ同村では之れを以て農業是の確立を圖る筈で今後少くも三年乃至五年目

薫風の五日

繪畫展覽會

縣立磐城中學校の第二十九回陸上運動會は來月五日開校創立記念日をとし午前八時から若葉かほる高月臺グラウンドに於て舉行される筈である尙之れを期としてエックス會では第二十八回繪



うごの酢漬

先づうごを一寸くらゐに切り水につけて薄皮を剥いて茹でるのでありますが、此の場合鐵鍋のやうな鐵のあくの

位に一層精細なる同調査を行ふ由であるが一町村の統計としては地方稀なる試みである

水利議員選舉 石城郡小川水利組合では去る廿五日關係町村一齊に組合議員の改選を執したが廿六日まで判つたものは左の如くである

▲大浦村猪狩廣次、酒井良平、鈴木長壽、渡邊金次、高崎兼次郎▲草野村高岡唯一郎、山下清太郎、高岡忠、江尻七太郎、松崎義隆、金賀裕、渡邊盡▲四倉町長谷川友太郎、門馬安次郎▲平窪村小川子之松、松本徳一、松崎松治、矢吹與助、吉野佐平太(以上)

有聲座の大會

有聲座は廿九日から名優競演大會を兼ね説明者獅子吼大會となし市川右太衛門の「幻魔」瀨川銀潮、柳まさ子の「宵待草」大谷友三郎の「正劍邪劍」月形龍之助の「花嵐」尾上紋十郎の「大石瀨左衛門」等名篇のみを揃へた由

社告

明日天長節に 付き休刊す

糖を大匙に半分ほど入れて煮立つたらおろします、別の器にうごをつけ込み二三時間ほどその儘にしておきます、それから頂くのですが熱を申しますと海苔を一寸火にあぶつてうごをぐるぐる巻きにするのです、見た眼も大層美しく又非常に味もよろしうございます

恐るべき 蠅の繁殖様模

夏の間吾々は蠅のために悩まされまゝです。それは單に所謂うるさいばかりでなく、毒な病菌を傳播させる恐るべきである事はもう既に唯しも知つてゐるところであります。その蠅はごうして生れ大きくなり、そして繁殖するかを記して見ませう。蠅の卵は長さ三厘、直径が一厘位の極く

小さな

粒であります。蠅は一回およそ百二十個を産み付けますが、その卵は夏の時分ならば大概一

日で孵化して蛆虫となりまゝ腐れた動物類や汚れた水の中等にゐる、白色の小虫がそれでありまゝです。蛆は汚物を食べてだん／＼と成長し、ます、そして大概一週間も経る内に二回皮を脱ぎ、皮膚が硬くなつて俵形の蛹となります。蛹は巾が一分長さが二分五厘程の大きさのものであります。それは普通五日乃至七日もたつと羽が生え、初めて一匹の家蠅となつて蛹から

脱げて

飛び出すのであります。つまり蠅の卵は産み付けられてから凡そ二週間位で一匹の蠅となる

のであります。そこでその蠅の一匹によつてまた百二十個の卵が産み付けられると、二週間の後には百二十羽の蠅となり、その一匹がまた百二十個

産み付

けるといふ風にして一夏中に代替はりて十二三回もあるのです。た一匹の蠅の卵から忽ち無數の蠅となるのであります。そして蠅は各々二十分以上の微菌を持つてゐるといふのですから如何に恐るべきものであるかが分ります

蠅の害

を豫防するには、蠅が卵を産みつける場所を與へないやうにする

自動車の

小兒轢かる

平町六丁目

廿六日午後三時十分頃石城郡平町字六丁目通りで湯本町字三箇白土自動車會社の運轉手渡邊徳治(三)が客を乗せて疾走中平町字五丁目二二日雇業武次郎四男星傳治(二)が道路を横切らんとして自動車の前車輪に觸れ右大腿部を轢傷され直に最

詐欺犯捕る

千葉生ごのみ

平町字南町髪結業楠田いの方より數日前現金二十圓を詐欺した外附近各町村の同業者三十餘名から數百圓を詐欺した犯人あり、平署で嚴探中廿六日午後八時頃四ツ倉署で三十五六歳の舉動不審の男を引致し取調中だが右は千葉縣夷隅郡生れ無職石井某と稱し一切口を緘じて語らないので同署でも手古摺つてゐる